

リゲティ(1923~2006) とペンデレツキ(1933~)

今回は、リゲティとペンデレツキを採り上げる。何故この二人を同時に採り上げたかについて深い根拠は自分でも理由を述べることは、難しいのだが、この二人にシュトックハウゼンを加えて「前衛のチャンピオン」と表現する人がいた事が記憶に残っているからである。

私は当初、20世紀の音楽＝前衛音楽との印象が強かったので、前衛とはどんな音楽なのだろうかとの興味を持っていた。他に二人の共通点を探すと「トーンクラスター」という作曲技法を多用していたことであろうか。その何たるかを感じてもらえれば幸いである。

リゲティ・ジョルジュ

ハンガリー生まれの現代音楽の作曲家。クラシック音楽で実験的な作品を多く残した。映画「2001年宇宙の旅」「シャイニング」などに音楽が使用されたことで有名。

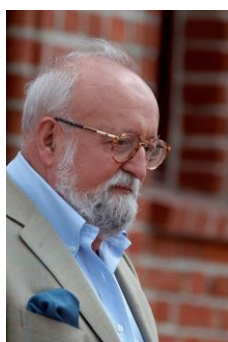


(紹介曲) ● 6つのバガデル

- ポエム・サンフォニック 100台のメトロノームのための
- マカーベルの秘密 (演奏:ハンニガン) ● ヴァイオリン協奏曲 (演奏:コパチンスカヤ)
- 2001年宇宙の旅より アトモスフェール 他 (全てYouTube画像による紹介)
- Ligeti Duo "Balada si joc" (演奏:コパチンスカヤ)

| | | | | | | | |
|-----|-------------|---------|------|-------|-------|-------|--------------|
| 受賞歴 | 1986年 | グロマイヤー賞 | 作曲部門 | 1991年 | バルザン賞 | 1991年 | 高松宮殿下記念世界文化賞 |
| | 1995年/1996年 | ウルフ賞 | 芸術部門 | 1995年 | ショック賞 | 2001年 | 京都賞思想・芸術部門 他 |

クシシュトフ・ペンデレツキ



ポーランドの作曲家、指揮者。クラクフ生まれのカトリック教徒。ポーランド楽派の主要作曲家の1人である。

- (紹介曲) ● 交響曲7番(エルサレムの7つの門) ● 失楽園 ● Intermezzo
- セレナード ● 古典様式による3つの小品 他

受賞歴 書き入れないほどの世界中の受賞歴がある。

時間の都合で曲目が変更になる事があります。



我孫子オーデオファン(AAFC) 分科会へのご案内 (会員による自主講座)

日時 / 2019年4月28日(月) 13:30~15:45

場所 / 久寺家近隣センター 多目的ホール

発表者 / 山本 一成 参加自由・入場無料

問い合わせ / 090-5422-5479 脇田 <http://www.aafc.jp/>